

わたしたちの PTA

～新たな取組でつながりが広がるPTA活動～

特色あるPTA活動～令和5年度優良PTA文部科学大臣表彰受賞団体より～



講演会での保護者同士の意見交換

瀬戸内市立邑久幼稚園PTA

活動の見直しにより主体的な参加を促進

会員や役員の活動の見直しを行い、負担のない参加方法に変更し、子どもたちのために自ら考えて活動に参加できるようにしました。研修会は事前に希望をとる形にし、保護者が必要な研修を主体的に学ぶことができるようにしました。

〇年生

すこやか川面

令和4年度

9月

★できたら〇を、できなかったら△をつけましょう。

	5日	6日	7日	8日	9日	
① はやおき <small>家を出る1時間前までにおきる</small>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	→
② はやね <small>【 時 分 】までにねる</small>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	→
③ 朝ごはん <small>食べた</small>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	→
④ メディアコントロール <small>メディアの合計時間は1日2時間以内</small>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	→
⑤ 学年の目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	→

★ねる時刻のめやすは★

1・2年生 午後9時までにねる

3・4年生 午後9時30分までにねる

5・6年生 午後10時までにねる

このめやすの時刻を参考に、おうちの人と相談して、②にねる時刻を書きましょう

じぶんのふりかえりを書きましょう。

おうちの方から、一言お願いします。

すこやか川面カード

高梁市立川面小学校PTA

「すこやか川面週間」により生活習慣を整える

生活研修部のすこやか川面担当が主体となって、カードを活用し、家庭での生活習慣を見直す取組を行っています。「すこやか川面週間」の取組後には、担当が学年ごとに取組結果、成果・課題をまとめ、保健だよりで報告し、意識づけを図っています。

上記2団体の取組の詳細は、文部科学省のホームページでご覧いただけます→



目次

○表紙

・瀬戸内市立邑久幼稚園PTA ・高梁市立川面小学校PTA

○PTAは何のためにあるの？どんな活動ができるの？ ……P1

○子どもたちの健全な成長のためにひろがる県内のPTA活動 ……P2

・岡山市立角山小学校PTA 「地域と一体となった活動を展開」

・金光学園中学・高等学校やつなみ保護者会 「生徒の教育環境を支えるために」

○県の取組、PTA活動のヒント・PTAとしてできること

テーマごとに、特に対象となる校種を示しています。活動の参考にしてください。



岡山県「ぼっちり！モグモグ」生活リズム向上
マスコットキャラクター

	テーマ		主な対象
①	非認知能力の育成について ～PTA研修で学びませんか？～	……P3	幼稚園・こども園PTA
②	子どもの「学ぶ力」を育てるために ～子どもが伸びる家庭学習とは？～	……P4	小学校・中学校PTA
③	適切な「スマホ・ネット」の利用について ～すすめよう家庭のルールづくり～	……P5	全校種PTA
④	デジタル機器と上手に付き合うために	……P6	全校種PTA
⑤	生活習慣を整えるための取組 ～チャレンジ・カードのススメ～	……P7	全校種PTA
⑥	就学前から高等学校等卒業後の 自立と社会参加に向けた特別支援教育の充実	……P8	全校種PTA
⑦	キャリア教育への参加	……P9	全校種PTA
⑧	人権教育の研修を充実させるために	……P10	全校種PTA
⑨	「親育ち応援学習プログラム」について	……P11	全校種PTA
⑩	子育て支援の情報	……P12	全校種PTA

PTAは何のためにあるの？ どんな活動ができるの？

PTAとは… Parent (親)
Teacher (教師)
Association (組織)
の頭文字をとったもの

保護者と教職員は対等な立場で
互いに高め合う
良き「パートナー」
です

PTAは、「子どもの健全な育成を図ること」

を目的とし、保護者と教職員が協力して、学校及び家庭における教育に関し、理解を深め、相互に学び合い、活動を行う社会教育関係団体です

集う・支える活動

○**子どものために教育環境を整備する活動**
学校園の環境整備、通学路点検、あいさつ運動、
通学の見守り、資源回収 等

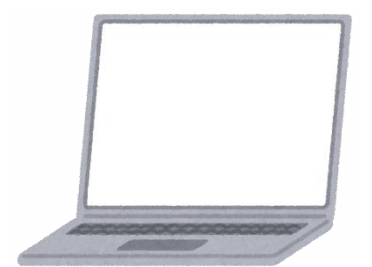
○**子どもたちと関わる活動**
学校の教育活動へのボランティア、
生活リズム向上の取組 等



つながる活動

○**PTA会員同士がつながることができる活動**
PTA種目（運動会）、学級PTA活動、
PTAレクリエーション大会 等

○**PTAの情報を共有する活動**
広報紙やポスターの作成・啓発、
ホームページやSNSによる発信 等



学び合う活動

○**学校の教育方針や目標、内容等を理解するための学習**
懇談会（学校・学年・学級・地区）、
学年・学級PTA活動 等

○**会員自らの成長のための学習**
研修会等への参加や企画・運営、
「親育ち応援学習プログラム」の実施 等



**保護者と教職員で子どもへの思いを共有して
PTA活動を進めましょう**

子どもたちの健全な成長のために ひろがる県内のPTA活動

～令和5年度優良PTA文部科学大臣表彰受賞団体より～



合同防災訓練での寸劇

地域と一体となった活動を展開 (岡山市立角山小学校PTA)

地域と学校の合同防災訓練では、西日本豪雨の教訓を生かし、連合町内会長、PTA会長、校長が大雨で高齢者等避難の指示が出た時の寸劇を行い、地域住民、保護者、児童、教職員で災害に対する備えなどについて意見交換をしました。家庭や地域で準備や約束について日頃から話し合っておくことの大切さが実感でき、有意義な時間となりました。

学校生活に新型コロナウイルス感染症の影響がある中でも、子どもたちにとって良い思い出ができるように、角山夏祭りでは、コミュニティ協議会で感染症対策について話し合いを重ね、PTAが中心となって子どもたちが楽しめる様々なコーナーを企画・運営しました。



角山夏祭りのPTA企画のビンゴゲーム

生徒の教育環境を支えるために (金光学園中学・高等学校やつなみ保護者会)

評議員会の3つの部(指導部・庶務部・教養部)を中心に活動を行っています。

指導部は、広域補導や列車補導により、生徒の見守りを行っています。

文化祭では、庶務部を中心に、家庭に遊休品の提供を呼びかけ、バザー(友愛セール)を開催し、盛り上げに貢献しています。その一環として、保護者相互の親睦を兼ねた「手作り会」によりハンドメイドの活動を行い、製作品の収益は生徒の教育活動に充てています。

教養部により、機関紙「やつなみ」を年3回発行し、生徒や教職員の活動、保護者会の足跡を広報しています。また、講演会の実施後には、その内容を小冊子「金光学園やつなみ保護者会教養シリーズ」にまとめ、刊行しています。



文化祭の様子



機関紙「やつなみ」



① 非認知能力の育成について ～PTA研修で学びませんか？～

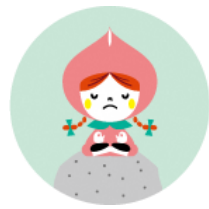
非認知能力を育成しよう！

子どもたちが生きるこれからの時代は予測困難な時代と言われ、今後はさらに状況に合わせて自分なりの答えを見つけていくことが求められます。諦めずに答えを見い出すためには、「非認知能力」というテストなどで客観的な点数(数値)にできない力が必要だと言われています。

家庭で育みたい3つの非認知能力

「自分を高める力」

やる気・意欲・向上心・
挑戦心・楽観性など



「他者とつながる力」

協調性・社交性・共感性・
コミュニケーション力など



「自分と向き合う力」

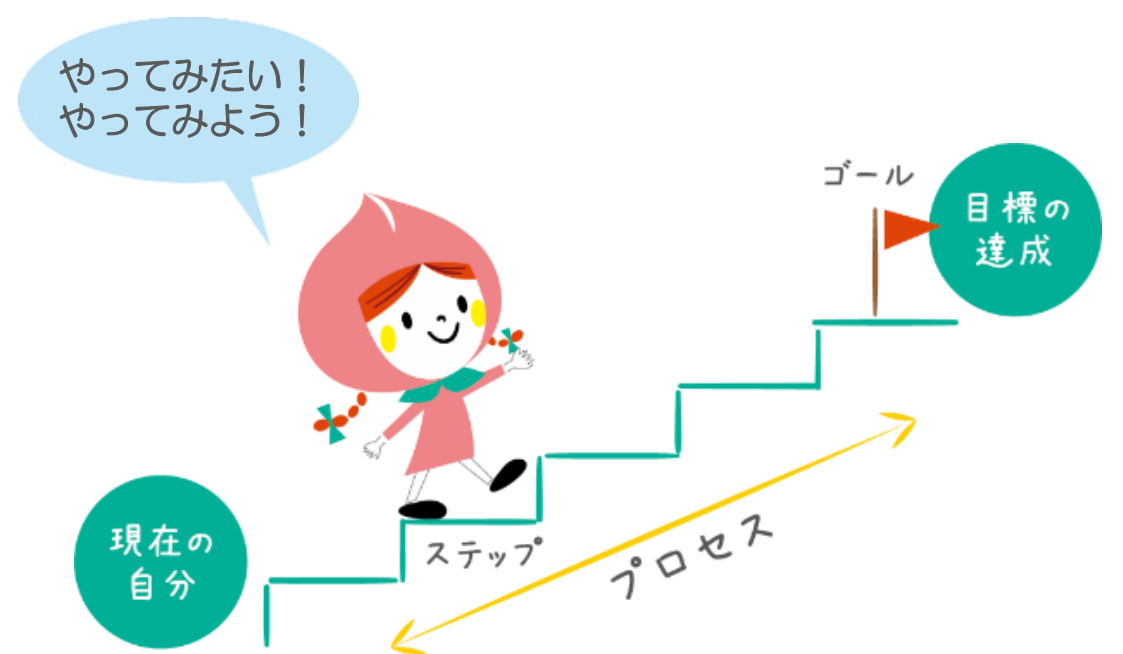
ねばり強さ・我慢強さ・
回復力など



意欲ややる気を育む関わり

子どもの「やってみたい」「やってみよう」という意欲ややる気の育成は、子どもにとって身近な大人の関わりが大きく関係します。

保護者が子どもの姿(結果やゴールではなくプロセス)から「いいところ」を見つけ、意識づけすることで非認知能力は育まれます。



就学前の「非認知能力」について学べるプログラムがあります

岡山県教育委員会では、令和4年度・5年度に指導者養成研修を行い、令和6年度より、市町村における保護者向けの研修会の実施を進めていきます。

プログラムには、ワークブックを活用した、3日間で深くしっかり学ぶプログラムと、短時間(30～60分)で、基礎知識を学ぶプログラム(親育ち応援学習プログラム)があります。

PTA研修会等で、ぜひご活用ください。



- ・PTA研修会
 - ・就学時健診
 - ・学級懇談会
 - ・子育てサロン
- 等で活用できます

「就学前の非認知能力レンズで『いいところ』みっけ!!」ワークブック



【子どもの名づけの由来から育みたい非認知能力を考えよう】

エピソード
Aさんは娘の名前から「わたしの名前にはどういった意味があるの？」と聞かれました。どうやら学校で「生まれたときの『名づけの由来』をおうちの人に聞いて書いてみましょう。」という課題が出たようです。Aさんは娘の名前を考えたときの思い出を思い出し、娘の名前を考えた思い出を思い出しました。

「簡単(はるか)」・・・春の太陽の日差しのように暖かく、まらなく周りを包み込むように、優しくあふれる子孫にでも優しく、思いやりある子孫に育ってほしい

① お子さんが生まれたときの由来は何ですか？

② 名前の由来は何ですか？どんな思い出がありますか？

③ 今のお子さんはどんな子ですか？

④ 気づきや感想(振り返り)

【子どもの成長を振り返ろう】

エピソード
Aさんは5歳の息子のB君と一緒に近所の公園に遊びに行きました。公園に歩くとき、B君の足元が滑り落ちて、Aさんは怖く思いましたが、B君はすぐに立ち上がり、涙も流さず笑顔で歩いていました。Aさんは「ジャンプして遊ぶのが好きで、B君の小さな成長を感じていました。」

Aさん「ジャンプは最初は怖かったけど、今は一番上手でできるようになったなあ。すべり台は順番を守って、順番では友達に「スコップを貸して」と言うことができる。いろいろな心配することもあったけど、B君も成長したなあ。」

成長を感じる姿・行動は、どの非認知能力と関係がありそうですか。
高める力 (例: 怖がっていたけど、ジャンプに挑戦した)

向き合う力 (例: すべり台の順番を尊重することができる)

つながる力 (例: 「スコップを貸して」って友達に伝えられる)

想(振り返り)

【がんばった、がんばっている姿を大切にしよう】

日々、子育てをしていると嬉しいことや暖かいこと、たくさんありますよね。就学前に、お子さんの成長を少し振り返ってみませんか。そして、頑張っているご自分のことこの機会にぜひ見つめてみてください。

① あなたが今までに「がんばった」と思うことは何ですか？
例・目標に向かって意欲的に「がんばった」こと
・辛いことやうまくいかないことがあっても気持ちを切り替えて「がんばった」こと
・意欲や協力したり、新しいことに取り組んで「がんばった」こと

なぜ、がんばることができましたか？

② 最近、お子さんについて「がんばった」「がんばっているな」と思ったことは何ですか？
お子さんは、なぜ、がんばることができると思いますか？

③ 気づきや感想(振り返り)

「親育ち応援学習プログラム」の非認知能力の育成に関するプログラム(3種類)

【担当課】

岡山県教育庁生涯学習課
086-226-7597

関連資料のダウンロードや
詳細情報はこちらから→



②子どもの「学ぶ力」を育てるために ～子どもが伸びる家庭学習とは？～

子どもの主体的な学びをサポートしましょう！

⇒ 小学校段階では？

小学生の時期に、学ぶ意欲を高め、家庭学習の習慣を身に付けておくことが大切です。子どもの学習の様子を見守り、声掛けをしながら主体的に学習に取り組めるようサポートしましょう。

- ①子どもとの会話やふれあいを大切にしましょう！
- ②学習環境を整えましょう！
- ③子どもの学習の様子を見守り、頑張りを認めましょう！

⇒ 中学校段階では？

中学生の時期は、思春期ならではの悩みや不安で気持ちが揺れ動き、関わりが難しい時期ですが、自立した大人への成長段階と捉え、温かく見守りましょう。

- ①規則正しい生活習慣をサポートしましょう！
- ②計画的に学習を進める習慣を身に付けさせましょう！
- ③将来の夢や進路を見据えた学習ができるよう応援しましょう！

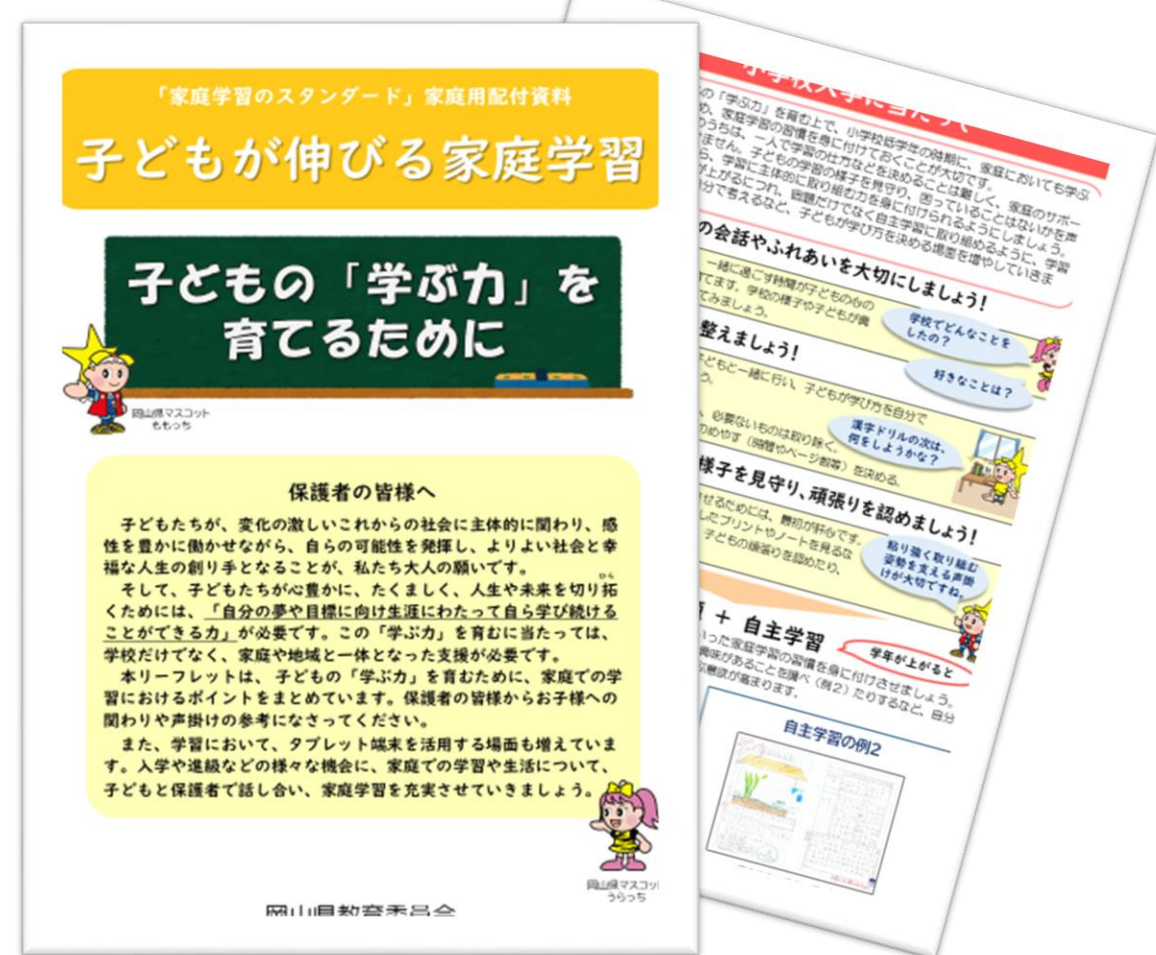
子どもと一緒に考えてみませんか？

夢に挑戦することは、何歳になっても自分を高める原動力となります。「どんな自分でありたいか」、生涯を通じて問い続けることも大切なことです。

「夢ボイスチャンネル」の動画は、子どもたちが自分の将来を真剣に、そして前向きに考える活動を応援するため、岡山ゆかりのセンパイが夢の実現に至るまでの道のりについて語っています。



「家庭学習のスタンダード」家庭用配付資料
「子どもが伸びる家庭学習」



♡ 岡山ゆかりのセンパイからのメッセージ ♡



「夢ボイスチャンネル」の動画や、家庭学習についてさらに詳しく知りたいときは、右の二次元コードからアクセスしてください。



「夢ボイスチャンネル」



「子どもが伸びる家庭学習」

【担当課】
岡山県教育庁義務教育課
086-226-7082

関係資料のダウンロードや
詳細情報はこちらから→



③ 適切な「スマホ・ネット」の利用について ～すすめよう家庭のルールづくり～

学校では、1人1台の学習者用コンピュータ端末等の導入を進めています。授業や家庭などさまざまな場面において、調べ学習や自分の理解度に合わせた学習などに活用することで、新たな学びの幅を広げています。子どもたちには、インターネット等の便利な面と危険な面を理解した上で、効果的に利用していくことが求められます。「スマホ・ネット」について保護者同士、親子で考える場を設けましょう。



PTAとしてできること(活動例)

- PTAの部会で全校児童生徒の「スマホ・ネット」の実態をアンケートで調査する。
(スマホやネットの使用時間、ルールの有無、困っていること 等)
- 「スマホ・ネット」問題の解決に向けた取組を考える。
(研修会の開催、参観日に親子でルールについて話し合う、各家庭の取組や工夫を広報紙に掲載する 等)



OKAYAMAスマホサミット
公式キャラクター『スマホ太郎』

「OKAYAMAスマホサミット」の開催

岡山県教育委員会では、子どもたち自身の主体的な活動により、ルールづくり等の取組を進める「OKAYAMAスマホサミット」を開催しており、子どもたちが学校の実践発表やグループ協議を行い、スマホ・ネット問題や適切な利用について考えています。保護者部会も開催しており、児童生徒主体の活動を、PTAが支えていくことで、家庭や地域へ取組を広げやすくしています。

「OKAYAMAスマホサミット2023」
成果報告会の動画をご覧ください。



↑「成果報告会ダイジェスト」
※「各校の取組発表」やメッセージ作成の様子をまとめた動画です。

スマホ・ネットに関する参考資料

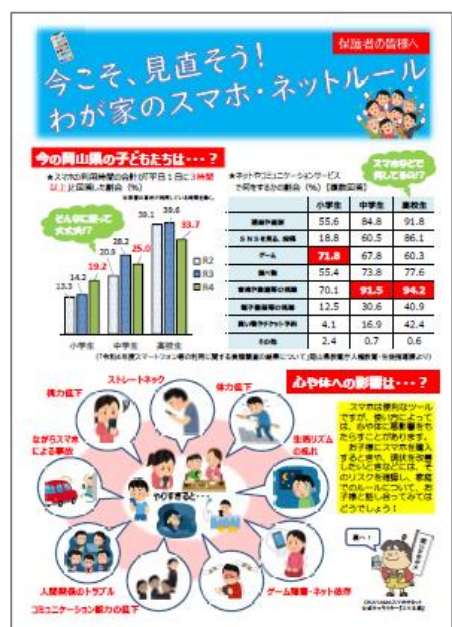
『「スマホ購入」虎の巻!!』
～いつか来るその日のために～



『「うちの子は大丈夫!!」それって本当ですか!?!』
(スマホ・ネット問題に関する啓発チラシ)



「今こそ、見直そう!」
わが家のスマホネットルール」



「わが家のスマホアクション」

ペアレンタルコントロールの導入の仕方を事業者別と機種別に動画で説明しており、親子で視聴しながら学ぶことができます。ペアレンタルコントロール機能(利用時間制限、アプリの制限等)を活用するなどして、親子でしっかり話し合っ、ルールを決めましょう。



わが家のスマホアクション 検索

【担当課】

岡山県教育庁人権教育・生徒指導課
生徒指導班
086-226-7589

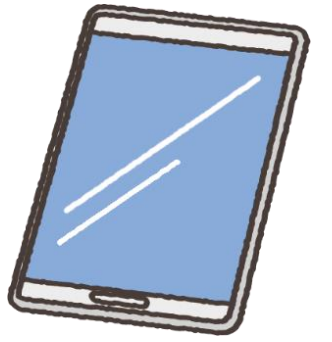
関連資料のダウンロードや
詳細情報はこちらから→



④ デジタル機器と上手に付き合うために

デジタル機器を使う時間があまりに長くなると、人と人とのリアルな関わり合いや、自分の感覚や行為を通して理解する学習、地域社会での体験活動などの時間も、少なくなってしまう。

成長期の子どものバランスの良い発達の観点からも、さまざまな経験や活動ができるよう、ご家庭でもデジタル機器全般の使い方について、親子で考えてみませんか？

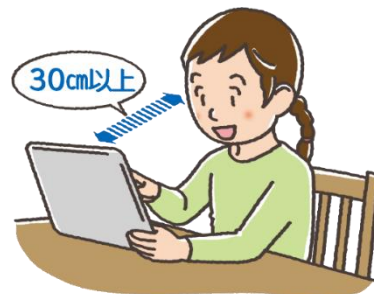


端末を使うときの健康面の注意点について

悪い姿勢が続いたり、長時間使用が続くと…

- ・視力に悪い影響が
- ・ストレートネック(スマホ首)の原因に
- ・使わずにはいられなくなる(嗜癖)
- ・脳が覚醒して、良い眠りが妨げられる

睡眠前に強い光を浴びると、入眠作用があるホルモン「メラトニン」の分泌が阻害され、寝つきが悪くなります。



タブレットやスマホを見るときは、目から**30cm以上**離して使用する。



30分に1回は、タブレットやスマホの画面から目を離して、**20秒以上**、遠くを見る。



ぐっすり寝るために、**寝る1時間前**からはデジタル機器を使わない。

出典:端末利用に当たっての児童生徒の健康への配慮等に関する啓発リーフレット(文部科学省)

(タブレットを使うときの5つのやくそく)(-1人1台端末の時代となりました-ご家庭で気をつけていただきたいこと)

依存度をチェックしてみましょう!

岡山県教育委員会では、児童生徒のネット依存の実態を把握できるよう、「ネット依存防止マニュアル」を作成し、インターネット上で公開していますのでご活用ください。



VI 「様式1」スマホ・ネットとのつきあい方チェックシート

これは、あなたのインターネットへの依存傾向(はなれられない状態)を測るものです。ロまず、あなたがしたい行動に対して、精神的に揺るぎを感じた後、次の30秒以内で、あなたの実際の行動を振り返るために「○」をつけてください。口使用する機器は、パソコン、携帯電話、スマートフォン、ゲーム機などオンラインでつながっているものすべてを指します。

1 1年 1 月 1 日 1 時 1 分 1 秒 1 日 1 回

【あなたは普段、何時間程度、何時間程度に揺るぎを感じますか?】
・揺るぎ時間は()時間 揺るぎ時間は()時間

項目	「○」欄
① インターネットに夢中になっていると感じていますか?	
② 睡眠不足を解消するために、インターネットを使う時間を長くしたいと感じていますか?	
③ インターネットの使用を制限したり、時間を減らしたり、完全にやめようとして失敗したことがたびたびありましたか?	
④ インターネットの使用時間を短くしたりやめようとする、落ち込んだり、不機嫌になったり、落ち込んだり、イライラしたりしますか?	
⑤ 長い始めに思っていたよりも、長い時間、インターネットをつけない状態でもいますか?	
⑥ インターネットのために、大切な人間関係、学校のことや部活動のことを怠らしたり、怠るようなことがありましたか?	
⑦ インターネットの使用中のしきりを保つために、家族、先生やほかの人たちに話を聞いたことがありますか?	
⑧ 自分にみりかかった問題から逃げるため、または発怒、不安、落ち込みといったいやな感情から逃げるために、インターネットを使いますか?	

あなたの「○」の数は 個

家庭での活用(生活改善に向け、子どもと一緒に考えましょう)



- (1) 家族が抱く心配事や不安は共通しています。
- (2) 戸惑いや心配ではなく、別の視点から原因を探ることも必要です。
- (3) 家庭でもチェックシートを活用することで、依存傾向が高い場合は、「個別指導チェックシート」を活用し、観察を行い、必要に応じて介入していきます。
- (4) 学校と情報交換を行い、介入方法を検討し、子どもと一緒に気になることなどを共有して、生活改善に向けて目標を設定するとともに、目標を見失わないよう見守り、必要に応じて援助します。
- (5) 「改善されない」「状況の悪化」など、必要があれば相談機関への相談も検討します。

PTA研修会やメディアコントロール週間等でテーマとして取り上げ、親子で上手な付き合い方について考えましょう。

【担当課】

岡山県教育庁保健体育課
086-226-7591

関連資料のダウンロードや
詳細情報はこちらから→



⑤ 生活習慣を整えるための取組 ～チャレンジ・カードのススメ～

基本的な生活習慣を整えよう

基本的な生活習慣(早寝・早起き・朝ごはん、メディアコントロール、適切な運動、手洗い・うがい等)を整えることは、学習意欲や気力の充実、学力や体力の向上につながるといわれています。

キャンペーン月間(11月)や キャンペーン週間(年3回)があります

岡山県教育委員会では、望ましい生活習慣の確立に向け、「ぱっちり！モグモグ生活リズム向上キャンペーン」を実施しています。

PTAから呼びかけてみませんか？

チャレンジ・カードを使って、生活の“めあて”を決め、2週間のくらしを振り返る『ぱっちり！モグモグ“ツーウィーク”』をPTA活動として取り組んでみませんか。親子で、そして学校や園全体で取り組むと、子どもたちの意識もさらに高まります。

生活リズム向上のための活動を実践し、特に工夫した取組を行っている学校園・団体を毎年表彰しています。PTAも連携し、ぜひ積極的に取り組んで応募してください。

「ぱっちり！もぐもぐ“ツーウィーク”チャレンジ・カード」に取り組もう

児童用

ぱっちり！もぐもぐ“ツーウィーク” 1週間目

小学校 年

名前

チャレンジコースを決めてスマイルマークに色をぬりましょう。

チャレンジするコースのめあてを決めましょう。

★よくできたら○をあまりできなかったら△をつけようね。色を決めて、ぬってもいいよ。

がんばれた日数(○の数)を書きましょう。

はや 早おきコース	おきる	時	分	まで															
あさ 朝ごはんコース	どちからかに○印 食べる																		
いっしょに 食事中はノーテレビコース	食事中は テレビを消す																		
か てい がく しゅう 家庭学習コース	1日に 時間 分																		
そと 外あそびコース	1日に 時間 分																		
テレビコース	1日にテレビをみる時間 時間 分																		
コース																			
はや 早ねコース	ねる	時	分	まで															

★ゲーム・読書・お手伝いなど、自由に決めてやってみよう！

1週間取り組んだ感想を書いてね！チャレンジ前と変わったことがあるかな？ おうちの方からも、一言お願いします。

ごほうびシール

2週間目にもチャレンジ！

「幼児用」や「生徒用」もあります。

まずは1週間、そしてできたら2週間に取り組んでみましょう！

ボクはあいさつ運動が大好きだよ！
学校に呼んでくれるとうれしいな！



⑥ 就学前から高等学校卒業後の 自立と社会参加に向けた特別支援教育の充実

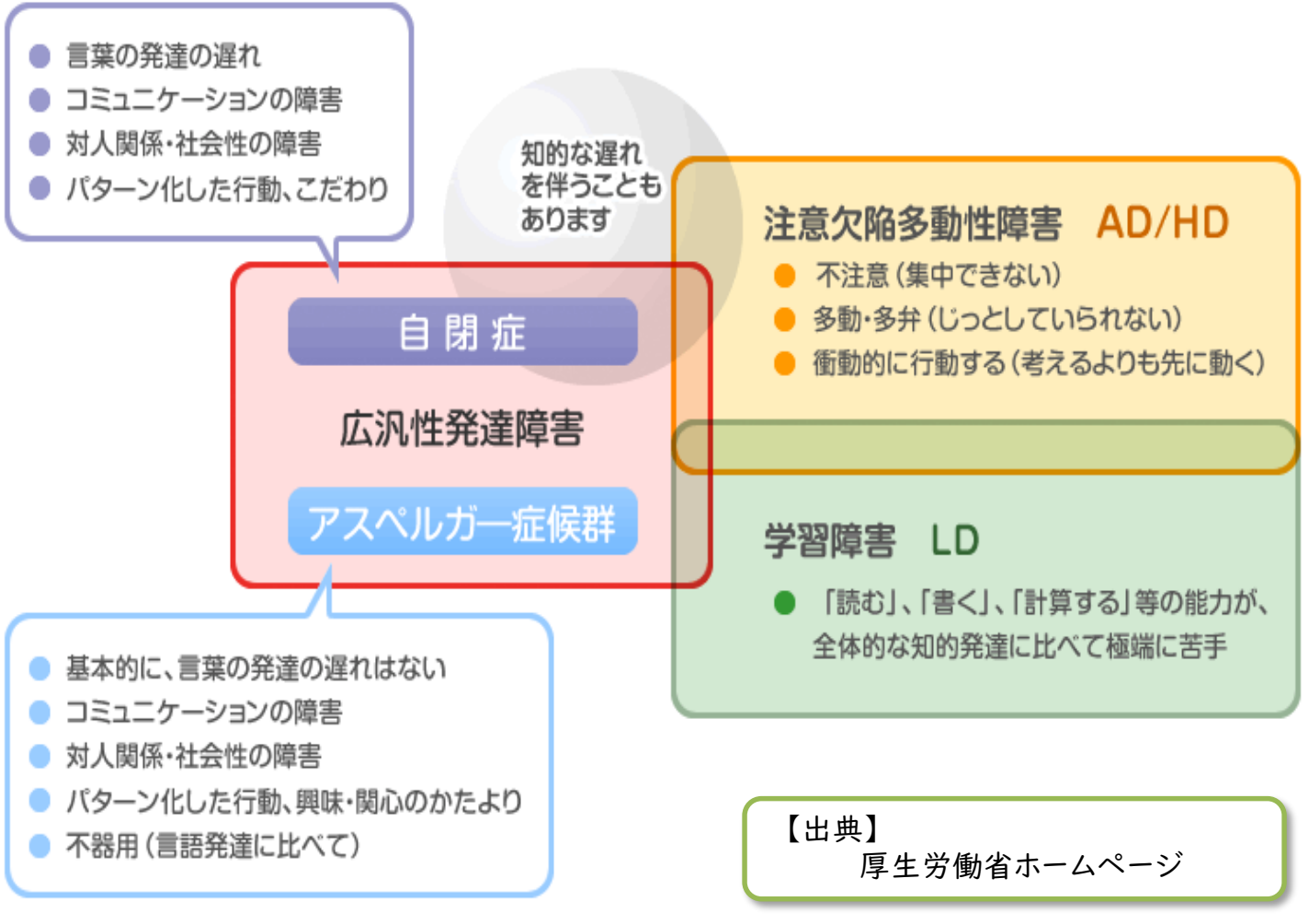
社会全体で共生社会の実現を目指しましょう！

「共生社会」とは、性別、年齢、障害等、人それぞれの違いを認め合い、互いに支え合う社会のことです。共生社会の実現のためには、障害のある者と障害のない者が共に学ぶ仕組みであるインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育を推進していく必要があります。

発達障害等について学びませんか？

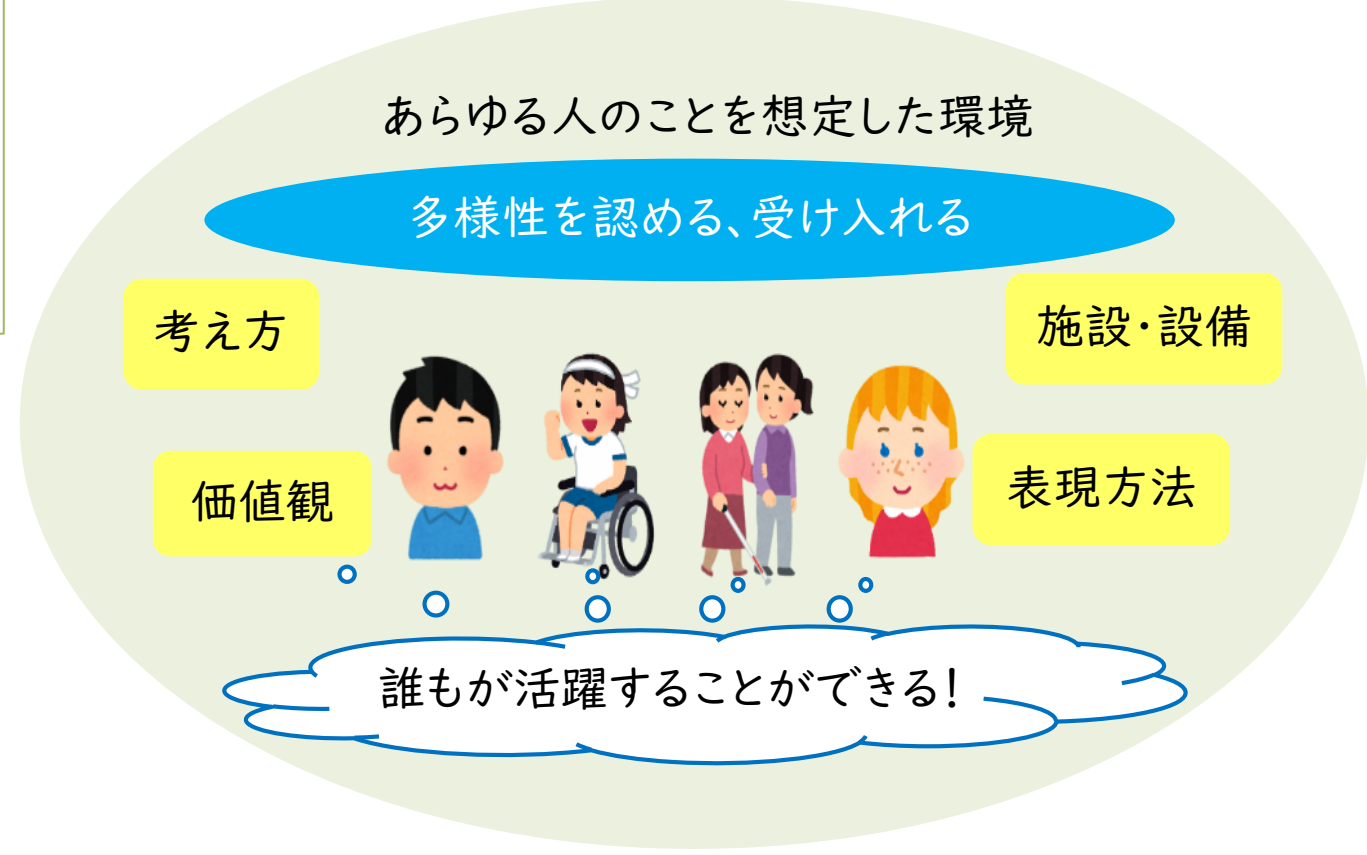
子どもたちは、私たち身近な大人の考え方に大きな影響を受けます。
PTA研修で共生社会や多様性、発達障害等について正しく理解する機会を作りませんか？詳しくは、「市町村の発達障害に係る相談窓口」又は「岡山県教育庁特別支援教育課」までお問い合わせください。

発達障害とは

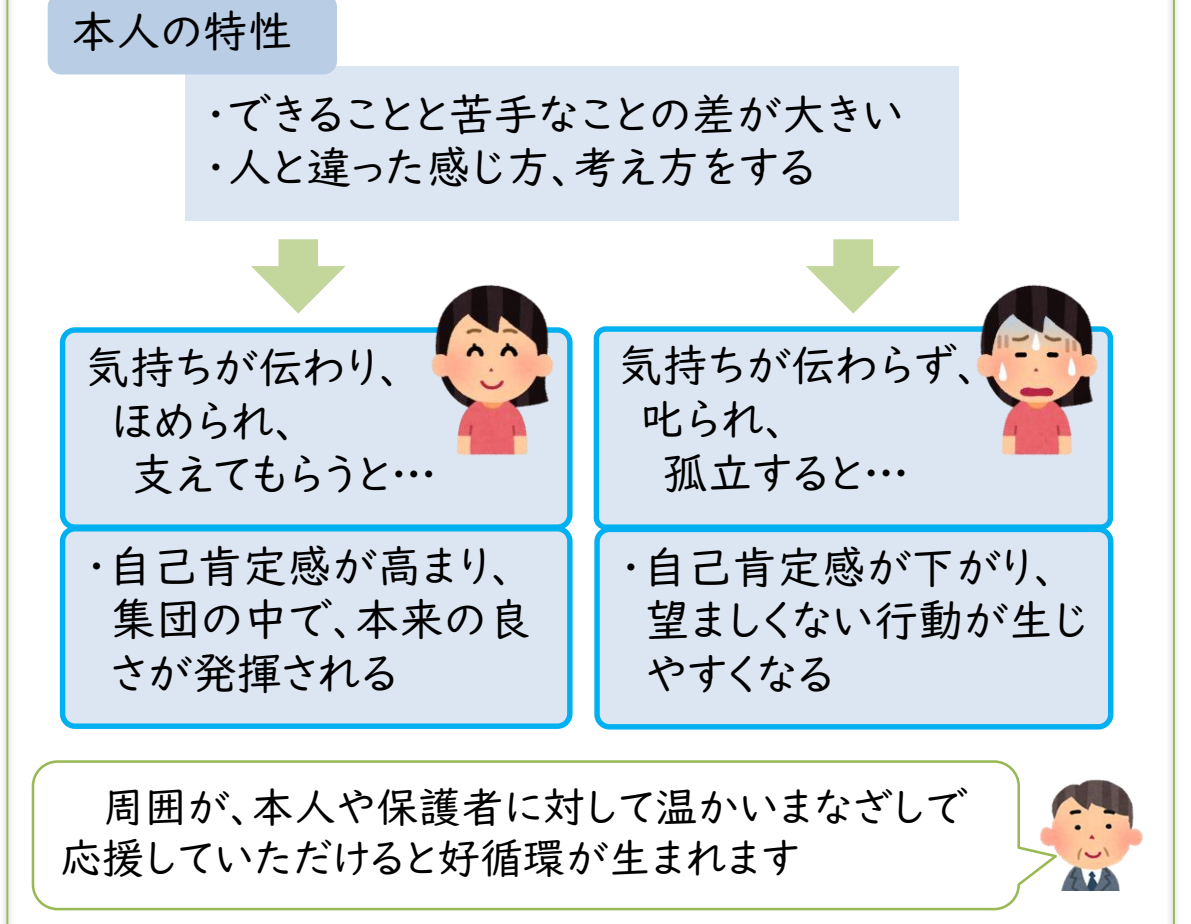


※自閉症・広汎性発達障害、アスペルガー症候群等は、「自閉スペクトラム症」等と呼ばれることもあります。

多様性を認める、受け入れる学校へ！



周囲の関わり方の大切さ



学校において、合理的配慮の提供は、義務として法律にも定められています！
さらに、「障害者差別解消法」の改正により合理的配慮の提供は令和6年4月1日から事業者においても義務となりました！

合理的配慮の提供について

☆「合理的配慮」とは、障害のある子どもが、他の子どもと平等に「教育を受ける権利」を享有・行使することを確保するために、学校教育において、均衡を失した又は過度の負担にならない範囲で、必要かつ適当な変更・調整のことです。

☆学校で提供された合理的配慮の例

- ・個別学習やクールダウンするためのスペースの確保
- ・対人関係の状態に対する配慮（選択性かん黙や自信喪失などにより人前では話すことが難しい場合など）
- ・個別指導のためのコンピュータ、デジタル教材、小部屋等の確保、ICTを活用した読み書き等のサポート
- ・課題量の調整、口頭による指導だけでなく、板書、メモ等による情報掲示 等

☆支援に関する相談窓口を担う教員として、**全ての学校に「特別支援教育コーディネーター」がいます。**学校で行う支援については、担任の先生以外にも各学校の特別支援教育コーディネーターに相談することもできます。

個別の教育支援計画等を学校と本人・保護者が連携して作成や見直しを行い、次の学年・進学先へ引き継いでいきましょう！
また、合理的配慮についても記載しましょう！



【担当課】

岡山県教育庁特別支援教育課
086-226-7912

関連資料のダウンロードや
詳細情報はこちらから→



⑦ キャリア教育への参加

子どもたちは、出会いの数だけ、新しい自分に出会えます

地域の未来を担う子どもたちと地域で活躍する大人が交流できる機会があれば、子どもたちは自分の意志で進路や将来の生き方を選択できるきっかけになるのではないでしょうか。

多様化する社会において、多くの大人と出会い、様々な職種の仕事を知ることが、子どもたちの人生の道しるべとなります。

PTA活動として、キャリア教育に参加してみませんか？

県内には、キャリア教育の活動にPTA会員が参加し、社会経験や仕事について、子どもたちに語る場面を積極的に設けている学校もあります。PTAの皆さんには、子どもたちが、社会的・職業的に自立して自分らしい生き方を実現していくために、是非、身近な大人として、こうした取組の充実にご協力いただきたいと思います。

PTAと学校がつながるキャリア教育の効果

- 子どもたちは、地域のことを知ることができ、郷土の愛着につながる。
- 子どもたちは、自分の夢や目標を発見することができ、将来の進路選択につながる。
- 大人は、子どもたちの様子がわかり、学校教育への理解につながる。



玉島商業高校～合同避難訓練～
地域における役割の認識等のため
近隣幼稚園と連携して実施

学校・家庭・地域・企業等が連携したキャリア教育を推進しています！



鴨方高校～企業での探究活動～
環境活動に対する取組を
調査・研究するための企業訪問



岡山御津高校～インターンシップ～
望ましい職業観・勤労観等を
身に付ける地元企業等での職業体験



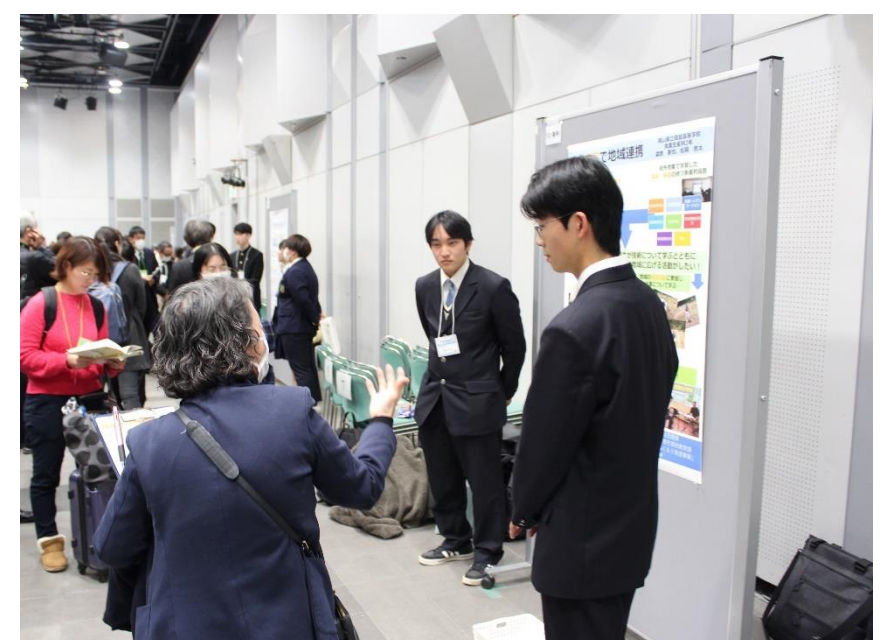
津山工業高校～企業との交流会～
高校生と地元企業が互いのニーズ
や考え方を知るために意見交換



岡山南高校～新制服の考案～
ジェンダーレスの制服を
地元学生服メーカーと共同製作



興陽高校～スマート農業の学習～
企業から自動運転田植機など
最先端の技術を学ぶ講習会



県教育委員会～高校生探究フォーラム～
企業や大学等と連携し夢を育む
探究活動の成果発表会

【担当課】

岡山県教育庁高校教育課
086-226-7586

詳細情報や取組事例は
こちらから→



⑧ 人権教育の研修を充実させるために

◆なぜ人権教育の研修？

「親の背を見て子は育つ」ということわざがあるように、子どもは意識的、無意識的に親や家族の言動を見ながら育っていきます。そのため、保護者自身が、人権や人権問題に対する正しい理解を深め、人権感覚を養うことが大切です。

まずは、研修のテーマを決めましょう！

◆研修のテーマ例(人権課題)

- 女性
- 高齢者
- 同和問題
- ハンセン病問題
- インターネットによる人権侵害 等
- 子ども
- 障害のある人
- 外国人
- 性的マイノリティ

◆学校における研修の具体的なイメージ

すぐにできる人権教育の研修！
人権教育・生徒指導課HPをチェック！

■人権教育講演会

「人権教育講師バンク」において、人権課題ごとに講師を紹介しています。(登録数 約60名)



■人権啓発動画・DVD視聴

無料でDVD、プレーヤー等の貸出しを行っています。【県生涯学習センター】視聴後の感想交流も有効です。



■人権教育ワークショップ

交流活動などの参加体験型の研修。人権問題を自らの課題として捉え、実践的な態度を身に付けることができます。



◆PTA役員等を対象とした研修会を実施しています(令和5年度実績)

- 幼稚園・こども園・小学校・中学校・中等教育学校PTA等指導者人権教育研修会(岡山教育事務所)
「SNS・インターネットによる誹謗中傷から子どもたちを守るために、保護者としてできること」
(一般社団法人インターネット・ヒューマンライツ協会 代表 スマイリーキクチ 氏)
- 幼稚園・こども園・小学校・中学校・義務教育学校PTA等指導者人権教育研修会(津山教育事務所)
「子ども理解とこれからの子育てのヒント」(NPO児童虐待防止全国ネットワーク 理事 高祖 常子 氏)
- 高等学校PTA指導者研修会
「LGBTQ+の児童生徒の存在を認識した学校での取り組み」(宝塚大学看護学部 教授 日高 庸晴 氏)
- 特別支援学校PTA指導者研修会
「成年後見制度 ～これだけは知っておいてほしい大切なこと～」(司法書士 中村 恵美 氏)



【担当課】

岡山県教育庁人権教育・生徒指導課
086-226-7612

関連資料のダウンロードや
詳細情報はこちらから→



⑨ 「親育ち応援学習プログラム」について

「親育ち応援学習プログラム」で子育てについて
学び合いませんか？



これから親になる若い世代の方から現在子育て真っ最中の方、そして孫育て世代の方まで、幅広い方を対象にしたプログラムがあります。(一部紹介)

入学前の不安解消

「自分でできたよ！
うれしいな
～入学までに
応援できること～」

自己肯定感を 高めるには？

「たっぷり愛して、
しっかり認めよう
～子どもの自己肯定感
を育む関わり方～」

親子で一緒に 学ぶこともできる

「大人と子どもと
ケータイ・スマホ」

非認知能力を 伸ばそう！

「がんばった、
がんばっている姿
を大切にしよう！」



PTAで子育ての不安や悩みについて
話し合い、つながりを深めましょう。



詳しくは岡山県教育庁
生涯学習課のHPをご覧ください。

進行役(ファシリテーター)になりませんか？

県内各地で子育て支援・家庭教育支援のための講座
や研修会で『ファシリテーター』が活躍しています。

関心がありましたらお気軽にお問い合わせください。



【お問合せ先】

市町村教育委員会 もしくは

岡山県教育庁 生涯学習課

岡山教育事務所 生涯学習課

津山教育事務所 生涯学習課

086-226-7597

086-221-7776

0868-24-8703

⑩ 子育て支援の情報



ももっこカードにアプリが誕生!!



協賛店で提示することで、割引や特典など、いろいろな子育て応援サービスを受けることができる「ももっこカード」が、現在地から協賛店を検索したり、地域のイベント情報が受け取れたりといった便利な機能を備えたアプリになりました。

また、対象も「小学6年生まで」から、「18歳未満まで」に拡大しました。

iPhoneから
App Store からダウンロード

Android™から
Google Play で手に入れよう

アプリのダウンロードはこちら

子育ての不安や悩みを抱え込まないように、相談先の情報をPTAで共有しておきましょう

未就学児を子育て中の方 ▶ ももっこステーション・地域子育て支援拠点

子どもが友達をつくったり、親同士がコミュニケーションできて、ほっと一息つける、「子育て親子の居場所」です。スタッフが子育ての悩みや不安などの相談に乗り、必要に応じて専門機関を紹介します。



詳細はこちら



子育てや家族のことでお悩みの方

電話相談窓口 / SNS相談窓口

■子ども・家庭電話相談室

TEL:086-235-4157
月～土 9時～20時
(祝日、年末年始を除く)

詳細はこちら



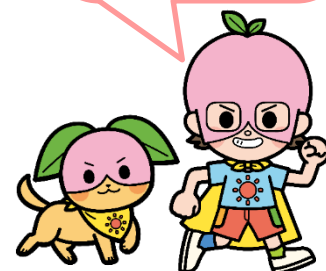
■親子のための相談LINE

月～金 10時～19時
(祝日、年末年始を除く)

友だち追加はこちら



市町村の相談窓口はこちら



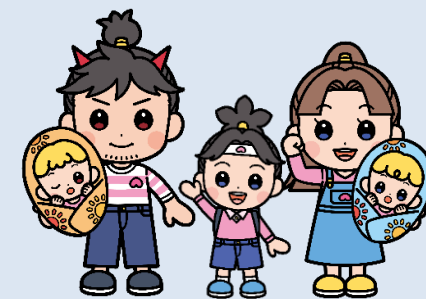
【青少年総合相談センター(ハートフルおかやま110)】

■総合相談窓口

TEL:086-224-7110
8時30分～21時30分
年中無休(年末年始を除く)

■LINE相談(友だち追加の上ご利用ください。)

アカウント名「ハートフルおかやま110」
LINE ID:@hfokayama
火・木・土 17時～21時
(年末年始を除く)



詳細はこちら

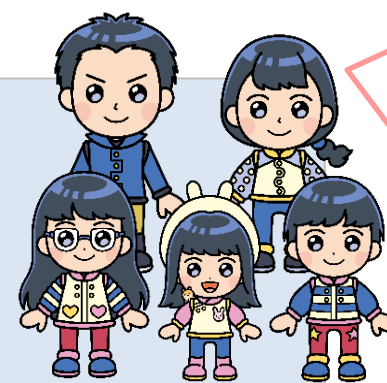


子どもの急な病気で不安な時

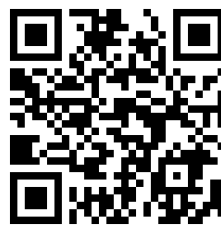
小児救急医療電話相談 #8000または086-801-0018

夜間の急な発熱、けいれんなど子どもの具合が悪くなった際の保護者等の不安や、症状への対応方法等について、看護師等が電話で相談に応じ、医療機関への受診についてのアドバイスを行います。

- 対象者 県内にお住まいのおおむね15歳以下の子ども及びその保護者の方
- 相談対応時間
 - 平日 月～金 19時～翌朝8時
 - 土曜日 18時～翌朝8時
 - 日曜日、祝日及び年末年始 8時～翌朝8時



詳細はこちら



【担当課】

【ももっこカード、ももっこステーション等に関する事】

岡山県子ども・福祉部子ども未来課
086-226-7347

【電話相談窓口、SNS相談窓口に関する事】

岡山県子ども・福祉部子ども家庭課
086-226-0557

【小児救急医療電話相談に関する事】

岡山県保健医療部医療推進課
086-226-7403



詳しくはポータルサイト「はぐくま〜れ」